平成 25 年５月 10 日

各　　位

東京都港区虎ノ門四丁目１番 28 号
虎ノ門タワーズオフィス
フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長　玉　井　信　光
（コード番号：8789 東証マザーズ）
問合せ先：取締役 執行役員 経営管理部長
鷲本 晴吾
電話番号：（03）5733-2121

第２四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 25 年９月期第２四半期連結累計期間（平成 24 年 10 月１日～平成 25 年３月 31 日）における業績につき、業績予想をしておりませんので、前年同期との対比について下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成25年９月期第２四半期連結累計期間（平成24年10月１日～平成25年３月31日）業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年同期実績（A）	1,451	△164	△138	△462	△387.91
今回発表業績（B）	608	△242	△176	△64	△54.42
増減額　（B－A）	△843	△78	△37	397	－
増減率　（％）	△58.1	―	―	―	－

２．差異の理由

【売上高】

企業投資においては、経営支援による投資先企業の価値向上により、複数の中小型案件で投資回収に至りました。また、これらの案件のファンドのアセットマネジメントにおいても成功報酬を受領しております。一方で、大型投資事案は、対象企業の好調な業績を受け、更なる価値向上を待つため、当社グループが所有する全持分売却は一時的に見送り、継続保有することとしました。ただし、今後も一部売却は引続き検討して参ります。

投資銀行業務においては、第２四半期の各種アレンジメント案件のクローズ数は第１四半期に比べ微増に留まったものの、新規受託は順調であり、今後、収益化していく予定であります。また、前期にアセットマネジメントを受託した地方都市の市街地活性化プロジェクトを端緒として、地域金融機関や事業者との関係構築が進んでおり、公共財関連事業で培った地方自治体との親密な関係も生かして、全国各地での横展開も図っております。

売上高については、前年同期に FINTECH GIMV FUND,L.P.の投資先企業の投資回収で 320 百万円、不動産投資の投資回収で 522 百万円といった大型の投資回収による売上があったことも影響し、608 百万円（前年同期比 58.1％減）となり、大幅な減収となりました。

【営業損益、経常損益】

売上原価は、前年同期での不動産投資案件の原価の影響がなかったことや公共財関連事業におけるソフトウエアの開発・保守の原価が低減したことにより72百万円（前年同期比88.7%減）となったことで、売上総利益は535百万円（前年同期比33.4%減）となりました。販売費及び一般管理費は、のれん償却負担の低減に加え、貸倒引当金繰入額の減少や子会社減少による支払手数料の減少により、778百万円（前年同期比20.1%減）となった結果、営業損失は242百万円（前年同期は164百万円の営業損失）となりました。経常損益については、為替差益64百万円を計上したことなどにより、176百万円の経常損失（前年同期は138百万円の経常損失）となりました。

【四半期純損益】

特別利益に㈱パブリック・マネジメント・コンサルティングの事業譲渡益 66 百万円及びフィンテックグローバル証券㈱等の関係会社株式売却益 25 百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は 64 百万円（前年同期は 462 百万円の四半期純損失）となりました。

以　上